
2014年度 第1四半期

決算説明資料



2014年 8月8日

(単位:億円)

	2013.1Q	2014.1Q	前年同期比増減 (伸び率)
売上高	1,474	1,570	+ 96 (106.5%)
営業利益	77	76	▲ 1 (98.7%)
(営業外損益)	7	8	+ 1 (115.6%)
経常利益	84	84	+ 0.1 (100.1%)
(特別損益)	6	16	+ 10 (268.7%)
当期純利益	48	56	+ 8 (116.1%)
自己資本	1,884	2,069	+ 185 (109.8%)
総資産	5,020	5,190	+ 169 (103.4%)
経常利益率	5.7%	5.4%	
ROE	2.6%	2.7%	
EPS	24.67円	28.61円	
自己資本比率	37.5%	39.9%	

2014年度 第1四半期 事業セグメント別売上高・経常利益



(単位:億円)

		2013.1Q	2014.1Q	前年同期比	主な売上高・利益増減要因
産業ガス関連	売上高	445	471	105.8%	<ul style="list-style-type: none"> ●高水準の高炉オンサイトをはじめ、幅広い分野でガス供給が増加 ●エレクトロニクス向け堅調 ●ガスの価格改定は着実に進捗するも電気料金値上がりによりコスト増
	経常利益	26	28	105.3%	
ケミカル関連	売上高	223	254	113.6%	<ul style="list-style-type: none"> ●コールケミカルは基礎化学品の生産販売が減少 ●ファインケミカルは海外拠点への生産集約による構造改革が進展 ●タール蒸留事業は販売減
	経常利益	10	6	63.9%	
医療関連	売上高	256	251	98.0%	<ul style="list-style-type: none"> ●病院設備工事や医療機器において消費増税の反動減 ●医療サービスの強化拡大はじめ、5本柱を着実に育成
	経常利益	10	10	101.3%	
エネルギー関連	売上高	119	116	96.8%	<ul style="list-style-type: none"> ●LPガス・灯油ともに増客を図るも気温影響大きく、数量減少
	経常利益	7	7	87.3%	
農業・食品関連	売上高	179	194	108.2%	<ul style="list-style-type: none"> ●飲料事業は消費増税の反動減で果実・野菜飲料の生産販売が減少 ●農業・加工事業は気候の影響を受け加工品の歩留まり悪化 ●ニチロサンパック、日農機の1四半期分がM&A効果で増収
	経常利益	10	6	58.8%	
その他	売上高	251	285	113.5%	<ul style="list-style-type: none"> ●塩事業の販売減少を環境事業で補完 ●マグネシア事業は好調持続 ●関東天然瓦斯開発の持分法利益貢献
	経常利益	18	21	113.7%	
(調整額)	経常利益	3	7	267.9%	—
合計	売上高	1,474	1,570	106.5%	—
	経常利益	84	84	100.1%	

<産業ガス関連セグメント>

(単位:億円)

	2013.1Q	2014.1Q	前年同期比	主な売上高増減要因
ガス	298	320	107%	<ul style="list-style-type: none"> ●高炉オンサイトの酸素供給量は高水準 ●幅広い産業分野でガス供給が回復 ●炭酸はタイトな需給環境が続く中、供給安定力が評価され販売拡大 ●エレクトロニクス向けは、モバイル関連、太陽電池にけん引され堅調
機器・工事	70	68	96%	<ul style="list-style-type: none"> ●プラント工事、半導体関連工事が減少
情報電子材料	76	83	108%	<ul style="list-style-type: none"> ●事業業績は底を脱し海外向け堅調なるも、国内半導体向け電材の回復が弱い
計	445	471	106%	

<ケミカル関連セグメント>

(単位:億円)

	2013.1Q	2014.1Q	前年同期比	主な売上高増減要因
コールケミカル	202	229	113%	<ul style="list-style-type: none"> ●ガス精製はコークス炉ガス処理量が減少するも単価アップにより増収 ●基礎化学品の主力 粗ベンゼンの生産・販売が減少
ファインケミカル	21	25	115%	<ul style="list-style-type: none"> ●精密化学品は原料調達変更と増販、価格改定により堅調 ●機能化学品は中国生産拠点への生産集中によりコスト合理化
計	223	254	114%	—

シーケム(持分益)	1.7	▲0.7	-	<ul style="list-style-type: none"> ●ニードルコークスは市況悪化、需要減
-----------	-----	------	---	--

<医療関連セグメント>

(単位:億円)

	2013.1Q	2014.1Q	前年同期比	主な売上高増減要因
医療ガス	23	23	100%	●医療用酸素は新規病院獲得なるも既存病院の使用量漸減で数量伸び悩み
設備	50	40	80%	●消費増税の反動減が影響 ●急性期病院の手術室・ICU工事への投資意欲は大きい
医療サービス	111	113	102%	●受託滅菌サービスは、受注拡大と収益改善により順調
医療機器	7	7	95%	●消費増税の反動減が影響 ●小児、周産期分野ラインナップ強化と消耗品新規販売で堅調
在宅医療	21	22	104%	●酸素濃縮器レンタル数増加
その他	45	47	105%	●西村器械の循環器系の医療機器販売好調 ●ハイデンタルが新規連結
計	256	251	98%	—

<エネルギー関連セグメント>

(単位:億円)

	2013.1Q	2014.1Q	前年同期比	主な売上高増減要因
LPガス	112	107	96%	●春先の高めに推移した気温影響でLPガス、灯油ともに販売数量減少
天然ガス関連 ^{ほか}	7	8	116%	●LNGタンクコンテナの販売順調
計	119	116	97%	—

<農業・食品関連セグメント>

(単位:億円)

	2013.1Q	2014.1Q	前年同期比	主な売上高増減要因
食 品 関 連	38	40	106%	●生ハム堅調、業務用ソース・スイーツ販売伸長
農 業 関 連	141	153	109%	●消費増税の反動減で野菜・果汁飲料の生産販売減少 ●天候影響により、農業・加工事業は加工野菜のロスが増加
計	179	194	108%	—

<その他セグメント>

(単位:億円)

	2013.1Q	2014.1Q	前年同期比	主な売上高増減要因
日 本 海 水	44	51	116%	●塩の販売数量が減少あるも環境事業堅調、新規連結効果
タ テ ホ 化 学	17	20	119%	●高級電磁鋼板用マグネシアの販売回復
海 水	60	70	117%	—
物 流	89	95	107%	●建設関連の荷扱量増加するも、軽油価格・車両不足によるコスト上昇が響く
そ の 他	102	120	117%	●Oリング事業回復、NV事業海外好調
計	251	285	114%	—

本資料に掲載されている目標数値ならびに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づく当社の判断によるものであり、潜在的なリスクや不確実な要素が含まれています。

そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記載している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。